



東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

エスロハイパー現場リポート31 「铸铁管漏水区間の復旧配水管敷設工事」

釜石市鶴住居町の仮設住宅への仮設配水管として、配水用ポリエチレン管「エスロハイパー」W150が採用されているが、融着接合による一体管路形成や柔軟性を活かした生曲げなどの特徴を御評価いただき、铸铁管漏水区間の復旧配水管敷設にも採用されました。

■ 施工概要

釜石市水道事業所様から、5月連休中工事に引き続き、釜石市管工事組合様での仮設住宅への仮設配水管施工協力中に、根浜海岸での铸铁管漏水区間の復旧配管工事を優先で施工依頼され当社も対応。施工は既設铸铁管にメカ継手でエスロハイパー「W150」を接続、生曲げでU字側溝を下越して埋設、道路横断後に山側崖に沿って生曲げ露出配管（ベンド1箇所採用）し、もう一方の既設铸铁管にメカ継手で接合。道路横断は交通遮断が出来ないので、陸付3本15m管を途中まで掘削した溝で融着接合した後、埋め戻して車両通行可能としてから、陸付け品を生曲げして掘削し埋設した。施工当日は朝9時過ぎ開始で午後3時には延長130mの敷設が完了していた。



根浜海岸



継手から抜けた既設铸铁管



メカ接続



陸付2本10m管を人力でU字側溝下越して、铸铁管にメカ継手で接合。陸付3本15m管準備



管陸付3本15m管を融着接合後、埋め戻し、



埋め戻しで車両通行可能にして、管端を生曲げで避けて掘削



既設铸铁管にメカ接合



管端を戻して、埋め戻して道路全面開通



既設道路山側の曲線に合わせて生曲露出配管(バンド使用1箇所)

仮設住宅への配水管敷設だけでなく、铸铁管漏水区間の復旧配管にも微力ながらお役に立てたのではないかと考えます。積水化学は今後も被災地復興のため、震災復旧支援に全力で取り組んで参ります。